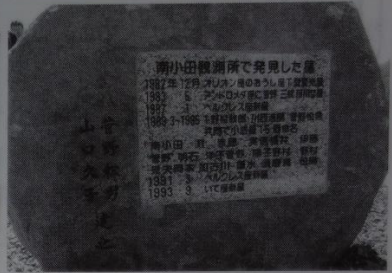
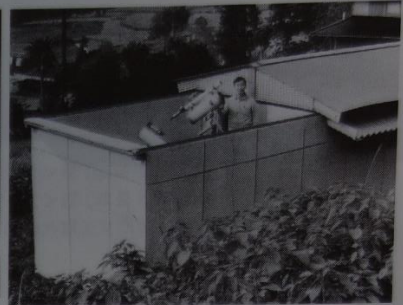


暑〜〜い夏がやってきた！
お酒を片手にゆっくり星空を眺めたい、
そんな季節の到来です。(な)



(左)参加者の集合写真。(右上)開所当時の南小田観測所と菅野さん。(右下)記念碑には新天体の数々が刻まれています。

第6回星なかま交流会の 実施報告

大杉直樹(星なかま☆ひめじ)

兵庫県姫路市を拠点として活動する天文同好会「星なかま☆ひめじ」と播磨地方の天文のベテラン陣が参加しての「星なかま交流会」が、6月16日に姫路市宿泊型児童館 星の子館にて開催されました。

この交流会は、第1回目は彗星写真でおなじみの津村光則さん、2回目は惑星写真の熊森照明さん、3回目は新天体発見三冠王の菅野松男さん、4回目は星の和名の北尾浩一先生、5回目はプラネタリウム100周年を迎えた明石天文科学館の井上毅館長をお迎えしました。そして第6回となる今回は趣向を変え、菅野さんが新天体発見に使用した南小田観測所跡地の記念碑除幕式と、この南小田観測所に憧れて建設された、いずれも自作である室生観測所、千が峰観測所、峰山観測所のとても懐かしい開所当時の紹介をしてもらいました。そして、明石天文科学館の井上館長には天文談話「機械時計の歴史」「ぜひ見ておきたい天文現象」を交えてお話をいただきました。

南小田観測所の開所は、もう半世紀も昔の1973年になりますが、この南小田観測所の存在の大きさに改めて触れることができました。播磨地方(兵庫県南西部)には、菅野さんの夢を引き継いだベテラン陣が数多くいます。今後も星なかま交流会にて一堂に会し、交流を深めたいと思います。

●開催報告ありがとうございました。観測所をテーマにした興味深い話題や、懇親会で親睦を深めたりと、すばらしい時間を過ごすことができた様子が文面や写真から伝わってきました！(な)



懇親会でカンパニー！